

令和4年度 学校自己評価（職員による取組への自己評価）

「通いたい学校 通わせたい学校 勤めたい学校」

A：大変よい B：問題ない C：やや不十分である D：不十分である

※評価数値は A=4, B=3, C=2, D=1 と換算した場合で、中央値は2.5

本年度の重点項目

□ 1 カリキュラムマネジメントの視点

評価項目		評価数値	職員評価	
1	安心して生活できる集団育成と生徒自治活動の充実	3.0	A	3
			B	17
			C	2
			D	0
2	非認知能力を育成する見通しと振り返りの習慣づくり	3.0	A	4
			B	15
			C	3
			D	0
3	GIGAスクール端末を生かした指導・蓄積・評価	3.1	A	5
			B	15
			C	3
			D	0
4	本物、実物、具体物に触れさせるカリキュラム	3.2	A	5
			B	18
			C	0
			D	0
5	主体性を育む清掃の取組	2.7	A	2
			B	12
			C	7
			D	1
6	地域貢献活動 ボランティア活動、地域連携の推進	3.1	A	5
			B	16
			C	2
			D	0
7	語彙力、読解力、表現力向上の取組（図書館、新聞活用等）	3.0	A	3
			B	17
			C	2
			D	0
8	長期見通しによる総合と連動したキャリア教育の充実	3.0	A	3
			B	15
			C	4
			D	0

□ 2 組織マネジメントの視点

評価項目		評価数値	職員評価	
9	改善検討会と安全衛生委員会の有効活用	2.6	A	0
			B	13
			C	10
			D	0
10	I C Tによるデータ蓄積と活用	3.0	A	5
			B	12
			C	6
			D	0
11	地域連携を踏まえた持続可能な部活環境の構築	2.9	A	4
			B	13
			C	5
			D	1

□ 3 リスクマネジメントの視点

評価項目		評価数値	職員評価	
12	保護者、地域との信頼を深める学校広報の充実	3.4	A	11
			B	11
			C	1
			D	0
13	北上川氾濫を想定した避難訓練と情報発信	3.0	A	4
			B	14
			C	5
			D	0
14	情報モラル学習と情報端末のフィルタリングの周知徹底	3.2	A	7
			B	13
			C	3
			D	0
15	感染症予防の徹底と緊急時の迅速な対応	3.3	A	10
			B	11
			C	2
			D	0

学校まなびフェスト項目（生徒、保護者アンケート結果を受けての評価）

評価項目		評価数値	職員評価	
1	【地域】 更なる地域貢献活動の充実 地域・学校の歴史を知り、伝統を活かした地域貢献活動を充実させ、自己有用感の向上を図る。 ①生徒アンケート項目「日々の地域貢献活動として『挨拶で地域の人へ元気を届ける』ことができたか」で積極肯定 80%以上 ②生徒アンケート項目「地域と関わる取組や、ボランティア活動に参加している」で積極肯定 38.0% (R2)→39% (R3)→ 50%以上	3.0	A	4
			B	12
			C	4
			D	0
2	【見通】 非認知能力を育成する習慣づくり 日々の生活に見通しをもち、振り返りながら目標に向かう習慣を身につけるツールとして導入した「フォーサイト手帳」のさらなる活用を図る ①生徒アンケートの項目「自分で1週間の予定を立てて生活・勉強している」で積極肯定 34.5% (R2)→37% (R3)→ 40%以上 ②保護者アンケートの項目「子どもは自分の時間を計画的に使っている」で積極肯定 14.7% (R2)→20% (R3)→ 25%以上	3.0	A	2
			B	15
			C	3
			D	0
3	【本物】 本物に触れるカリキュラム 本物に触れさせながら学ぶ授業、行事を企画立案し実施する ①本物に触れさせながら学ぶ授業を各教科年1回は行う。 ②本物に触れさせる行事各学年1回、全校1回は行う。	3.3	A	5
			B	13
			C	0
			D	0
4	【評価】 評価の工夫と見通しをもった指導 評価問題を工夫改善し、授業の改善につなげる ①定期テスト問題の2割を活用型問題とする。 ②教員自己評価の項目「自己選択を促す発問の工夫をしている」で積極肯定 60%以上	3.1	A	3
			B	14
			C	1
			D	0
5	【制御】 情報端末のフィルタリングと接触時間制御 情報端末のフィルタリング推進とメディア接触ルールづくりの啓蒙を図る ①生徒アンケートの項目「メディア接触時間」で平均時間 1時間34分 (R3)→ 1時間20分以下 ②保護者アンケートの項目「子どもが使う情報端末には、フィルタリングをかけている」で積極肯定 43% (R3)→ 50%以上 ③保護者アンケートの項目「メディアに接する時間と就寝時刻を決めている」で積極肯定 30% (R3)→ 40%以上	3.0	A	4
			B	12
			C	4
			D	0

<評価項目に係る総括>

- 【項目1】① 生徒アンケート7月の積極肯定は63%、12月は68%、2回の平均は66%
 ② 生徒アンケート7月の積極肯定は27%、12月は39%、2回の平均は33%
 【項目2】① 生徒アンケート7月の積極肯定は30%、12月は38%、2回の平均は34%
 ② 保護者アンケート7月の積極肯定は14%、12月は15%、2回の平均は14%
 【項目3】
 【項目4】
 【項目5】① 生徒アンケート7月の平均時間は1時間45分、12月は1時間47分
 ② 保護者アンケート7月の積極肯定は39%、12月は40%、2回の平均は39%
 ③ 保護者アンケート7月の積極肯定は26%、12月は22%、2回の平均は24%